

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

熊本YMCAは熊本バンドの精神をうけつぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願い、すべての人々がひとつとなるための働きを行います。「共に生きる社会」「地球環境の保全」「ウェルネス活動」「ボランティア活動」「平和な世界」の働きを推進します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	参加費減免制度の施行により、ひとり親世帯や特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに経済的理由により参加できない子どもたちに対して費用の一部または全額を減免している。	参加費減免制度適用者 2023年44名 →2026年65名
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	子どもたちを水難事故から守るため「ウォーターセーフティーキャンペーン」を開催する。各地の学校に出張して水上安全教室を実施する。	水上安全教室参加者 2023年約2000名 →2026年2500名
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	野外活動・キャンプを通し、自然環境を涵養する様を学び、体験する。自然環境の中で生きていくために必要となる知識や技術を身に着ける。	野外活動参加者 2023年833名 →2026年900名

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

熊本YMCAは「YMCAフィランソपी協会」の事務局として機能し、地域の企業に対して社会貢献活動とSDGsを推進するための活動を提案し、実施している。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	参加費減免制度の施行により、ひとり親世帯や特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに経済的理由により参加できない子どもたちに対して費用の一部または全額を減免している。	参加費減免制度適用者 2020年25名 →2022年25名
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	指標を達成。コロナ禍の中にあっても、徐々に行動制限が緩和されたことが一要因。あわせて、コロナ禍によって家庭の経済状況にも影響を受けたことが想定される。アフターコロナになって、紛争はじめ世界情勢の影響もあり、物価高騰などにより、家庭の経済状況に起因する子どもの体験格差も懸念され、この制度をより活用してもらえるよう取り組む。	2022年42名
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	子どもたちを水難事故から守るため「ウォーターセーフティーキャンペーン」を開催する。各地の学校に出張して水上安全教室を実施する。	水上安全教室参加者 2021年約2100名 →2022年2500名
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	指標の達成には至らなかった。withコロナのもと、学校内での様々な活動も再開してきているものの、まだ行動制限の影響が残っていることが要因と考える。今後学校活動の範囲が広がることで、安全確保の術を身につけることを啓発していく。	2022年2322名
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	野外活動・キャンプを通し、自然環境を涵養する様を学び、体験する。自然環境の中で生きていくために必要となる知識や技術を身に着ける。	野外活動参加者 2021年517名 →2022年700名
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	指標を達成。人と人の対面活動が見直されていく中で、自然の中で過ごすことの価値が再認識されてきており、並行して自然環境を守り育む機会を提供していく。	2022年961名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。